

(様式1)

令和7年度 学校評価結果報告書(高等学校用)

(1) 学校教育目標	豊かな品性を持ち、勤労を尊び、情操と創造性に富み次世代を担う、調和のとれた工業人の育成を目指す。 (1)品性の陶冶に努め、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒を育成する。 (2)個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養う。 (3)真理と正義を希求し、公共の精神を尊び、伝統を継承し、新しい文化の創造を目指す教育を推進する。	学校整理番号	34
(2) 現状と課題	・ 基本的生活習慣が確立されている生徒の割合が高い一方で、望ましい生活習慣が未形成である生徒が年々増えつつある。 ・ ものづくり教育や各種資格取得等に積極的に取り組み、成果を上げている。 ・ 基礎学力の定着や専門的な基礎技術・技能の定着と向上、生徒個々の進路実現等に向けて、組織的な指導体制の強化を進めている。 ・ 進路活動の状況は良好であり、早期に進路目標を達成している生徒が多い。	学校名	青森県立弘前工業高等学校
(3) 重点目標	1 多様化する生徒一人一人の能力・適性に応じた指導と学習習慣の定着に努める。(学習指導の充実)	全日制の課程	
	2 生徒自らが自己実現を図っていくための力の育成を図り、健全な学校生活を確立する。(生徒指導の充実)	自己評価実施日	令和8年1月22日(木)：学校総括評価会議
	3 進路目標の実現に向けて生徒・教職員・保護者が共に早期から取り組む、計画的・組織的・継続的な進路指導を推進する。(進路指導の計画的・組織的な指導の)	学校関係者評価実施日	令和8年2月3日(火)
	4 教職員のものづくり技術の向上を推進するとともに、工業学習への生徒の意欲が向上する指導に努める。(ものづくり教育の充実)	(9) -イ 学校関係者評価委員会の構成	
(4) 結果の公表	学校関係者評価(保護者アンケート等)の結果とともに、ホームページに掲載して公表する。	学校評議員4名 (保護者、地域住民、大学等の教育関係者、学校後援会役員等) 学校関係者13名 (校長、教頭、事務長、関係分掌主任等)	

自 己 評 価				学校関係者評価		(10) 次年度への課題と改善策
番号	(5) 評価項目	(6) 具体的方策	(7) 具体的方策による目標の達成状況	(8) 目標の達成度	(9) -ア 学校関係者からの意見・要望・評価等	
1	学習指導の充実 (教務部) (教務部・研修係) (図書・視聴覚部) (IT推進部)	① 多様化する生徒の能力・適応に応じた指導と学習習慣の定着 (ア)目標の明確化と評価 (イ)基礎・基本に即した指導 (ウ)ICT活用によるわかる授業・力のつく授業 (エ)主体的・体験的学習 ② 円滑な学校運営のための分掌間の連絡調整に努めるとともに、業務の効率化を図る。	① 多様化する生徒の能力・適応に対応するため、教材の精選や授業改善、ICT活用等を推進した。評価と指導の一体化のために、新入生にシラバスを配付して到達目標を明確化するとともに、定期考査の事前・事後の講習会等により生徒の学習意欲を高めることができた。 ② 校内ポータルサイトによる連絡・確認事項等の配信、職員朝会実施日の見直し等により、職務の効率化を図ることができた。	B	・ 生徒一人ひとりに行き届いた指導を各分掌でしていただいていると、課題研究発表会を見て感じました。今後もぜひ継続していただきたいと思いました。 ・ 先生方がとても熱心に指導してくださっているのが伝わってきます。いつもありがとうございます。 ・ 先生方が勉強が苦手な生徒に放課後教えてくれている。	・ 基礎的知識・技能の定着と活用力を育む指導及び学習評価と授業の改善に努める。 ・ 円滑な学校運営のための分掌間の連絡調整に努めるとともに、ICTを活用した業務の効率化を図る。 ・ 授業改善に関するデジタル支援をとおして、生徒の学びの充実を図る。
2	生徒指導の充実 (生徒指導部) (特別活動部) (保健部) (渉外部)	① 生徒自身が自己実現を図る力の育成 (ア)生き方・あり方を考える指導 (イ)基本的生活習慣・規範意識 (ウ)いじめ防止 (エ)生徒理解・教育相談 ② 望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る。	① 生徒指導部と各分掌、各教員が連携して基本的生活習慣と規範意識の定着に向けて指導した。交通安全教室や自転車点検、街頭指導等を実施して意識の啓発を図り、事故防止や危険回避のための能力を高めた。 ② 生徒会活動や学校行事等の集団活動等を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図った。適生徒の自主的・実践的活動を促し、各活動の活性化と生徒の発達を心がけた。	B	・ 文化祭では絆が深まり色々な出し物・体験がありとても楽しい。就職に対しても親身になっていただき大変ありがたく思います。 ・ 学校外での部活動のありかた(場所、時間、送迎等の連絡)がもう少し保護者の事を考えてほしい。 ・ インフルエンザの流行した時の早い対応など、親としては安心しました。	・ 基本的生活習慣を確立し、規範意識やマナーの向上を図るとともに、事故防止に向けた指導を徹底する。 ・ 生徒会諸行事の活性化を図るとともに、ホームルーム活動の充実を推進する。 ・ 保健教育および保健管理の充実を図るとともに、教育相談(特別支援教育)の充実を推進し、さらに教育環境の整備を進める。
3	進路指導の計画的・組織的な指導の推進 (進路指導部)	進路目標の実現に向けて進路意識の早期啓発を図り、計画的・組織的・継続的な進路指導を行う。 (ア)キャリア教育・勤労観・職業観 (イ)進路情報の収集・活用 (ウ)面談をきっかけとした早期指導 (エ)企業見学や外部人材によるガイダンス	早期の情報提供や進路希望調査、産学官連携による進路指導を継続し、希望進路の実現に向けて意識の啓発を図った。地元企業理解を目的とした企業面談や企業見学、インターンシップ等を実施した。進路希望者に対する講習会を実施した。 進路意識の啓発を図るため、四者面談(生徒・保護者・担任・科主任)を実施。学校公開日に保護者対象の進路説明会、学校行事日等での来校保護者に進路指導室を開放し個別説明会を実施した。	A	・ 1年時から進学・就職に関する情報に触れる機会がある。 ・ 卒業後の進路へ向けて、先生方が親身になって寄り添って下さりとてもありがたいです。感謝しています。 ・ 就職してから、即戦力として働けるのでよい。	・ 生徒の進路希望の早期決定を促すとともに、将来の生き方につながるキャリア教育を推進し、分掌間の連携強化によって進路指導の充実を図り、さらに多様化する大学入試に対応できる環境を構築する。
4	ものづくり教育の充実 (工業科総括) (渉外部) (教務部・研修係)	① 職員のものづくり技術の向上・生徒の意欲向上 (ア)校内外研修 (イ)外部人材の活用 (ウ)コンテスト等の技術教育強化 (エ)課題研究・成果発表の充実 ② 産業界と連携し、工業技術・技能の定着や資格取得の推奨、専門的進路実現を目指す。	① 国際イノベーションコンテスト国内大会入賞、若年者ものづくり競技大会入賞、ものづくりコンテスト県大会入賞など、実践的な活動を通して技術の向上と生徒の専門的資質の向上を図った。資格取得では、生徒が身に付けられる力を明確にして系統的な指導を行い、実際の進路に結びつけている。 ② インターンシップは3学科実施した。産業見学や企業・地域人材を招いた講話、上級学校との連携等により、専門教育の充実にも努めた。	A	・ インターンシップがコロナ以降途絶えていたものが少しずつ復活してきたことはいいことだと思います。 ・ 資格取得に向けての指導が熱心でありがたいです。 ・ 社会に出るための基礎を学ばせてもらいとても良い。 ・ 専門資格の取得者や全国大会への参加など優秀な生徒さんがたくさん見受けられる。	・ 基本的生活習慣の育成と調和のとれた人格形成に努めるとともに、個々の生徒理解を深めて適正な進路指導を行い、さらに産業界との連携を強化してものづくり教育の充実を図る。 ・ 資格検定試験の受験を奨励し、その指導を充実させるとともに、生徒が希望する進路の実現を図る。

(11) 総括	1 地域産業との連携を一層強化し、実践的な技術教育を通じて地域の産業を支える人材育成拠点となることを目指す。 2 AI・IoT・ロボティクスなどの先端技術を積極的に教育に取り入れ、時代の変化に対応できる技術者を育成する体制を整える。 3 生徒が安心して技術を身につけられる環境を整えることを重視し、設備の更新やICT機器の充実を進めるとともに、最新の産業技術に触れられる実習環境の整備を図る。また、学びやすい教室環境づくりや安全管理の徹底を行い、生徒が主体的に学習に取り組める環境を確保していく。
---------	--